



## クラウドクレジット・ファンディング合同会社

2023年6月27日

### 【米ドル建て】中東地域ソーラー事業者支援ファンド 38号

#### 契約期間延長のお知らせ

投資家のみなさまにおかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

掲題のファンドは匿名組合契約書第4.1条第2項にて匿名組合契約の有効期間を2023年6月末日までとしておりました。本通知の配信日現在までに本ファンドの分配資金が本営業者の口座に着金していないため、このたび本営業者は同項にあります有効期間の延長を行い、かかる延長後の本件匿名組合契約有効期間を2024年6月末までといたします。

#### 契約期間延長の事由

本ファンドにおいて、クラウドクレジット・ファンディング合同会社（以下、「本営業者」といいます。）はクラウドクレジット株式会社のエストニア子会社である Crowdcredit Estonia OÜ（以下、「エストニアグループ会社」といいます。）に対して貸付けを行い、エストニアグループ会社はこの借入金を原資として、アラブ首長国連邦を拠点に事業を展開する ODEH ASALEM AUTOMATION SYSTEMS – ODASCO LLC を親会社に持つ GLOBAL ENERGY SYSTEMS – FZE(以下、「GES社」といいます。)へ貸付けを行いました。

しかし、2022年8月期以降において、GES社が従前どおりの送金手配を行うと何らかの理由でその送金が妨げられる事態となり、同月期以降に同社が返済予定だった資金がいずれもエストニアグループ会社の口座へ着金しておりません。

#### 【2023年6月27日現在の状況】

エストニアグループ会社は、GES社がバーレーンに口座を開設してバーレーンを介する迂回送金を行う方法での回収を引き続き検討しています。そのなかで、GES社がバーレーンで口座を開設する要件として、2023年5月にバーレーン法人の設立を完了したとの報告を受けました。GES社は次の手順として、バーレーン法人の事業許認可を取得する手続きをとる予定です。

またGES社は、コロナ禍以降に拡大した借入の負担がキャッシュフローに照らして比較的過大とな

ったことを踏まえて、延長中のファンドに関するものを含む今後の返済について、分割返済とするなどの条件変更を求めており、エストニアグループ会社は同社と具体的な条件を協議しています。エストニアグループ会社は、GES社のキャッシュフロー以外を返済原資に充てる可能性も視野にしながら、早期の資金回収に努めてまいります。

本営業者はこうした状況に鑑み、本件匿名組合契約の有効期間を1年延長し、2024年6月末日を延長後の有効期間といたします。ただし、2024年6月末日よりも早く本営業者の口座に期待通りの着金がある場合には、本件匿名組合契約はその着金日から1ヶ月を経過する日において終了します。

引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016年3月

【資本金】 1,000,000円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号